

レジメン名	RAM
対象疾患	がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌
1クールの日数	14日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	サイラムザ	RAM	8	mg/kg	div	下記参照	d1
2							
3							
4							
5							
6							
補足	サイラムザの投与時間は初回投与時60分で行う。忍容性が良好であれば、2回目以降30分で投与可能。						

催吐リスク	最小度
前投薬	ポララミン注5mg
減量規定	高血圧（Grade2/3以上）…降圧剤による治療を行い、血圧コントロールできるようになるまで休薬。蛋白尿量（2～3g/日）…2g未満になるまで休薬。再開時6mg/kgに減量。2回目以降の発現時は5mg/kgへ減量。
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、下痢、高血圧、出血、尿蛋白陽性、消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、Infusion reaction
参考文献	適正使用ガイド（サイラムザ） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	生理食塩液で希釈し全量が250mLになるように調製。インラインフィルター使用。投与速度25mg/分を超えないこと。 REACH-2試験より対象としてChild-Pugh分類A(スコア5～6)の患者が推奨される(Child-Pugh分類B又はCでは重篤な肝関連有害事象が多く認められる)。

投与スケジュール

Day (1)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ポララミン注5mg 1日1回	1本 1本	5分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL サイラムザ注 1日1回 インラインフィルター使用 投与速度25mg/分を超えないこと 全量250mLになるように調製	1本 8mg/kg	初回60分 2回目以降30分